

現在の地区の取り組み

- 体育祭・文化祭
- ネイチャーステイ
- 農業体験
- かかし祭り、こども文化祭
- 南古谷ウインド・オーケストラ
- ニューイヤーコンサート
- こどもサポート委員会
- 防犯・見守り活動
- 青パトによる防犯パトロール
- 「子ども110番の家」事業
- 子ども防災キャンプ
- 南古谷の防災訓練
- 在宅高齢者等給食サービス事業
- ふれあい会食会
- 友愛訪問事業
- 世代間交流事業：観劇会と食事会
- 地区社会福祉協議会プラン事業：ふれあい・生きいきサロン
- 一人暮らし高齢者つどい事業：バス日帰り旅行
- ボランティア育成事業
- 地区別福祉懇談会
- 年末年始見守り事業
- 緊急連絡カード事業



子ども防災キャンプ



防犯・見守り活動



南古谷ウインド・オーケストラ



ふれあい・いきいきサロン

福祉施設等の地域資源

- ①南古谷保育園
- ②南古谷第二保育園
- ③星の子乳児保育園
- ④なのはな保育室

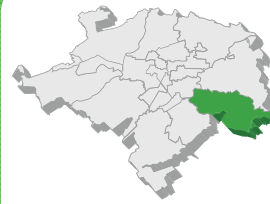
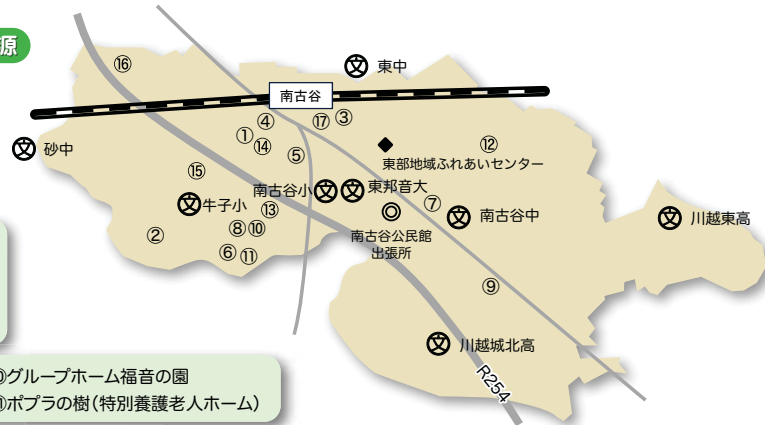
- ⑤カナオデイサービス
- ⑥デイサービスポプラの樹
- ⑦南古谷ケアセンターそよ風
- ⑧デイサービス福音の園

- ⑨南古谷大樹作業所

- ⑩グループホーム福音の園
- ⑪ポプラの樹(特別養護老人ホーム)

- ⑫南古谷病院(居宅介護支援事業所・訪問看護室・訪問リハビリ・ショートステイ)
- ⑬在宅介護支援事業所藤
- ⑭あおぞらサポート
- ⑮福祉会ライフサポート
- ⑯ふるさと
- ⑰地域包括支援センターランチ みなみふるや

- 自治会数……………27
- 自治会集会所数……21
- 自主防災組織数……19
- 民生委員数…………25
- 保健推進員数………6
- ボランティア団体数…7
- NPO団体……………4
- 老人クラブ……………11
- 病院……………1
- 一般診療所……………5
- 歯科診療所……………7



南古谷地区福祉プラン

地区の特徴

昭和30年、入間郡南古谷村は周辺9ヶ村と川越市に合併。JR埼京(川越)線南古谷駅があり、東はさいたま市、南はふじみ野市、富士見市に隣接しています。

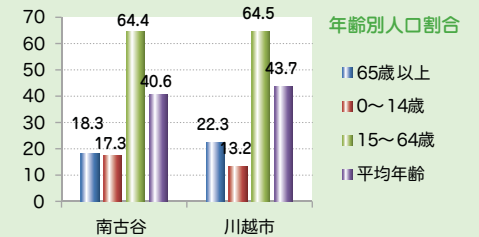
9年前、駅近くの工場跡地にショッピングセンターや住宅、マンションが建設されて以来、各地住宅が建ち人口増加が著しく、児童数の増加により教室不足が生じています。

しかしながら、豊かな自然環境が残っており、四季を通じて美しい田園風景が楽しめる地域です。

地域住民の状況

	南古谷地区	川越市
●人口	23,905人 (前年比1.64%増)	346,739人
●世帯数	9,240世帯	145,904世帯
●高齢化率	18.3%	22.3%

※平成25年1月1日現在



地区の活動目標

目標1 あいさつで始めよう 地域の和

目標2 だれもが安心して豊かな気持ちで暮らせる地域をつくろう

エリアミーティングであげられた課題

- ◇近所付き合いが少なくなっている
- ◇団体役員等の担い手が不足している
- ◇地域住民のマナーが低下している
- ◇子どもの問題、子どものしつけができていない
- ◇一人暮らし高齢者や高齢者で構成する世帯が増えている
- ◇障害者への理解が少ない
- ◇災害時のことが不安である
- ◇環境・衛生について課題がある

南古谷のシンボルマーク
キャッチフレーズは子どもたちが考えました



みどりと音楽あふれる笑顔の南古谷

あいさつを始めよう 地域の和

◎ 大人も子どもも積極的にあいさつをしよう

具体的な取り組み

- ▶ 地域の中に「あいさつ運動」を広めることで、地域住民のたすけあいの意識を高めます。
 - ① 子どもたちが学校で行っている「あいさつ運動」を、地域の中で大人も一緒に取り組んでいきます。
 - ② 自治会役員、民生委員・児童委員、地区社協役員などの地域のリーダー役となる人は、住みやすい地域をつくるための意識を持ち、継続的に誰にでも進んで声をかけるなど「あいさつ運動」を広めていきます。

だれもが安心して豊かな気持ちで暮らせる地域をつくろう

◎ 地域の見守り活動を充実させよう

具体的な取り組み

- ▶ 子どもたちの登下校の見守りを地域で協力して実施します。
 - ① 民生委員・児童委員、主任児童委員や自治会関係者が登下校を見守ります。
 - ② PTA・育成会が当番制で見守り体制を組みます。
- ▶ 地域ぐるみで高齢者の見守りネットワークをつくり安否確認をします。
 - ① 高齢者の見守りを配食サービスや民生委員による訪問だけでなく、自治会単位で見守り協力ボランティア(福祉協力員)を養成し、見守り役として身分がわかるような工夫(名札やベスト着用等)を行うなど見守り体制を整備します。
 - ② 地域住民が近所のスーパー等でも気軽に話をする等、様々な方法により見守りを充実させます。
- ▶ 孤立しがちな高齢者世帯、障害者や子育て世帯に対し、地域行事等への参加の呼びかけを行います。
 - ① 地域活動に参加しない高齢者には、近所の人が事業への参加を積極的、継続的に呼びかけていきます。
 - ② 高齢者や子ども・保護者で支援の必要性が認められる場合は、民生委員・児童委員、主任児童委員等へ相談し、公的な支援につなげるとともに、地域での見守りを行っています。
- ▶ 高齢者が悪徳商法等の被害に遭わないよう注意を呼びかけます。
 - ① 友愛訪問事業を充実させ、高齢者を訪問した時に注意を呼びかけます。
 - ② 各自治会は、行政や警察と連携して個別に訪問し注意喚起を図るなど呼びかけを行います。
- ▶ 市の災害時要援護者避難支援制度を踏まえ、災害時に地域で具体的にどのような支援を行っているのか検討します。

※地域見守りネットワークとの連携を図り、支援者と要援護者のつながりをつくります。



◎ 高齢者とのふれあいの輪を広げよう

具体的な取り組み

- ▶ 現在行っている様々な地域行事を活用し、隣近所等身近な場所で高齢者が気軽に集まる機会を増やしていきます。
 - ① ふれあい・いきいきサロン、会食会、健康体操、三世交代交流会、お茶飲み会等の交流行事を開催します。
 - ② 地域行事へ福祉施設等の専門職の定期的な参加を呼びかけ、要支援者の早期発見、介護予防の学習会等に取り組んでいきます。
- ▶ 会食会等の集まりへの参加経験のない高齢者には、その人に合った誘い方をするよう工夫していきます。また、高齢者同士の誘い合いが広がるように働きかけを行います。
- ▶ 既存の取り組みについて、対象者に聞き取り調査を行い、多くの方が参加しやすい環境や雰囲気づくりを行うなど、取り組みの改善を図っていきます。

◎ 地域の交流の場をつくろう

具体的な取り組み

- ▶ 地域にある保育園、社会福祉施設、小中学校等のスペースを開放してもらい、高齢者や子どもが集る世代間交流の場として活用していきます。
- ▶ 地区内の健康遊具が設置されている公園を世代間の交流の場として活用します。
- ▶ すべての自治会に集会所をつくることを目指します。



◎ 住民が参加できる魅力ある活動をしていこう

具体的な取り組み

- ▶ 現在行っている様々な行事の見直し、改善、拡充を行い、よりよいものにしていきます。
- ▶ 高齢者向けの行事や活動を推進するのではなく、すでに実施している子ども向けの行事や活動に高齢者を巻き込むようにしていくことで、現在の取り組みを充実させていきます。
- ▶ 地域の施設等は、デイサービスセンターにおける小中学生の体験ボランティア等、地域で高齢者と子どもがふれあう機会を増やしていきます。
- ▶ 地域の自治会や老人会の活動内容を広く地域住民に知らせるために、「社協ニュース」や「南古谷コミュニティ」「ときめき情報局」など世代を越えた広報の充実やちらし等周知方法の充実を図っていきます。
- ▶ 子ども文化祭・地区体育祭・南古谷ウインド・オーケストラを核にして、一層の住民参加を促していきます。

